

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年8月17日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 85
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～平和への願いを込めて その2～

第一音楽室から平和集会の配信を行いました。



人権平和委員会による紙芝居です。1学期に読む練習を続け、8月9日の本番を迎えました。一人一人心を込めて言葉にしました。



人権平和委員会の子供たちの紙芝居の後は、全員で平和の歌を歌いました。歌詞に出てくる情景を思い浮かべながら、心を込めて歌いました。



午前 11 時 2 分 長崎市に原子爆弾が投下された時刻です。



全校一斉に黙とうを行いました。子供たちの中には、自然に手を合わせる子供たちもいました。



献鶴です。平和の鐘をつるした献鶴台に各学年の代表の子供たちが、それぞれの学級で折った千羽鶴を掛けていきました。



8月9日は、被爆81年を迎えた長崎原爆の日でした。

この日、ご家庭でも、「平和」について、子供たちと一緒に話をしていただけただけなのではないかと思います。

一人一人が自分や周囲の人を大切にする心をもつことで、きっとこれからも平和な世の中が続いていくのだと思います。

この世にたった一つしかない大切な命を、これからも自分たちの手で守り続けてもらいたいと思います。

畝刈小学校は、子供が主語・子供が主役

「子供ど真ん中」の学校

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する子供たち」を支えています。